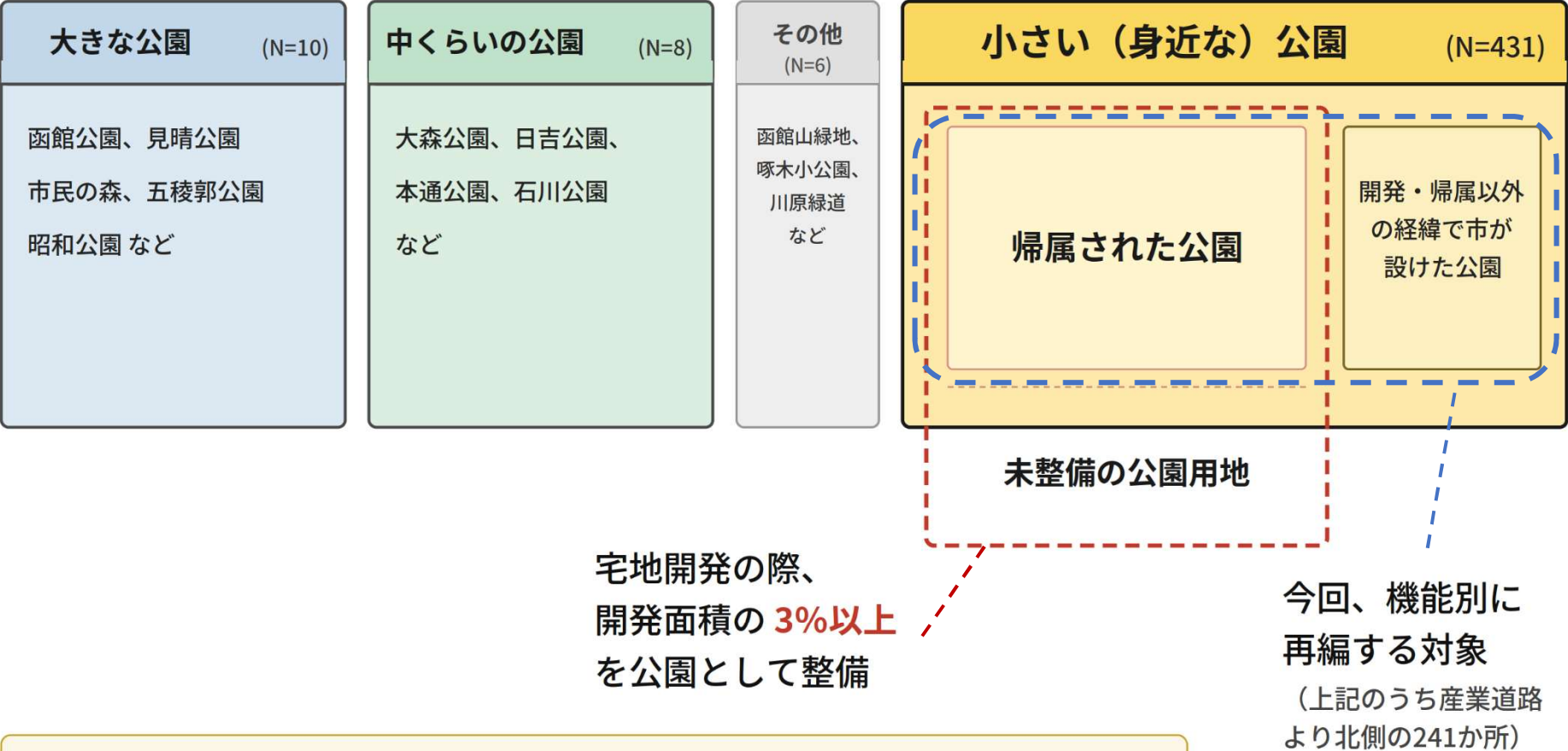


函館市の公園・緑地



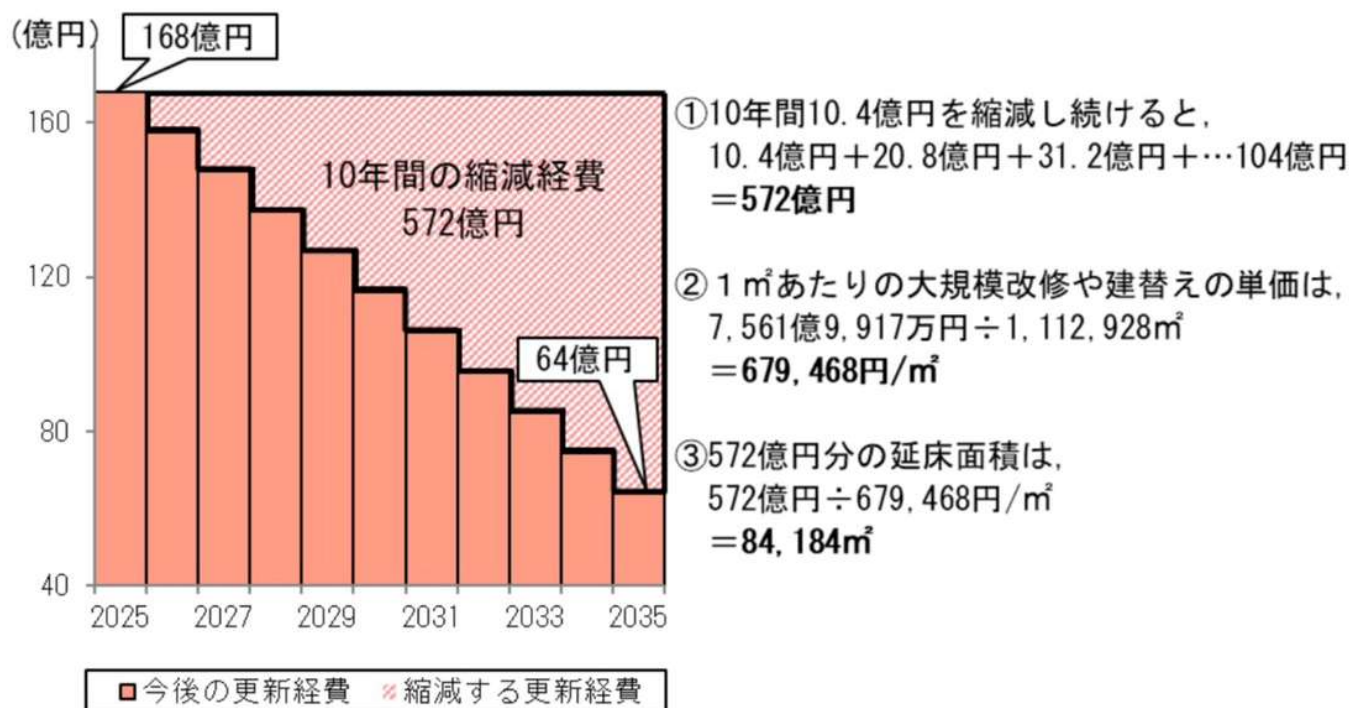
赤い点線 = 今回の質問で取り上げる「帰属公園」と「未整備の公園用地」
※ 「小さい（身近な）公園」が今回の質問の対象です。

(2) 施設保有総量の縮減目標

現状の公共施設を維持するには、試算上、1年あたり168億円の更新経費が必要と見込まれます〔P13 第3章5(1)参照〕が、今後の人口減少による歳入の減少および近年の物価高騰等の影響により、厳しい財政状況が予測されるなか、更新経費の増額は難しいことから、今後の更新経費については、過去5年間の平均更新経費64億円を維持するものと仮定し、1年あたりの更新経費を168億円から64億円にするには、計画期間の10年間で、総額572億円を縮減する必要があります。

一方では、今後、更新経費が必要となる延床面積は1,112,928㎡^③であり、この施設において大規模改修や建替えを行ったときの更新経費は総額7,561億9,917万円^④となることから、1㎡あたりの更新経費は679,468円となります。

よって、572億円分の更新経費を延床面積に換算すると84,184㎡^⑤となることから、施設保有総量の縮減目標を85,000㎡と設定します。



【図4-2 更新経費の縮減のイメージ】